

鍼灸科

医療概論

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2	
担当教員	奥山夕記子			実務経験	有	職種	鍼灸師					

授業概要

医療従事者としての倫理観、医療の歴史から現代の医療制度までを学びます。

到達目標

医療人としての適切な倫理観と社会における医療の役割を総合的に理解する。倫理に関する基礎知識を理解し、そのうえで医療者の在るべき倫理観を学ぶ。医療上の問題点をどのように解釈していくかの方向性を理解する。医学史を学ぶことで、現在の医療の成り立ちを理解し、更には今後の変化に対応する考え方を構築する考え方を獲得する。

授業方法

「倫理とは何か」というテーマからの入り口として、普段の生活におけるコミュニケーションの方法を見直し、普段より起こっている生活での問題点や社会的問題を解決してきた先人の知恵を確認する。更に、医療現場に限って見られるような「生命」や「人生」に関する価値観を問題提起し、現実に直面するだろう患者とのやり取りの際に必要な考え方を提供する。

成績評価方法

期末試験で100%評価する

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

東洋療法学校協会指定教科書

回数	授業計画
第1回	医療概論では何を学ぶか
第2回	医療従事者の倫理
第3回	患者の人権の尊重

鍼灸科

医療概論

第4回	日本の医療・福祉施設
第5回	医療経済・国民医療費
第6回	日本の社会保障と医療制度
第7回	医療保険の仕組み公費医療
第8回	介護保険と介護サービス
第9回	終末医療安楽死と尊厳死
第10回	生命倫理QRLとSOL
第11回	医学の進歩とバイオシエックス
第12回	医学史（西洋史）
第13回	医学史（中国史）
第14回	医学史（日本史）
第15回	まとめ